住宅改修が必要な理由書

＜基本情報＞

利用者	被保険者番号		年齢	歳	明治 大正 昭和 年 月 日	性別	男女	作成者	現地確認日	年 月 日	作成日	年 月 日
	被保険者氏名		要介護認定（該当に○）	要支援	要 介 護				所属事業所			
				1・2	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5				事業所番号			
	住 所								資格	（作成者が介護支援専門員でないとき）		
保険者使用欄	確認日	年 月 日	備考						氏 名			
	氏 名								連絡先電話番号			

＜総合的状況＞

		福祉用具の利用状況と		
		住宅改修後の想定	改修前	改修後
利用者の身体状況		●車いす	□	□
		●特殊寝台	□	□
		●床ずれ防止用具	□	□
		●体位変換器	□	□
介 護 状 況		●手すり	□	□
		●スロープ	□	□
		●歩行器	□	□
		●歩行補助つえ	□	□
		●認知症老人徘徊感知機器	□	□
		●移動用リフト	□	□
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか		●腰掛便座	□	□
		●特殊尿器	□	□
		●入浴補助用具	□	□
		●簡易浴槽	□	□
		●その他		
		・	□	□
		・	□	□
		・	□	□
		・	□	□
＜住宅改修完成後：記入欄＞ 住宅改修により、利用者等の日常生活はどう変わったか	完成後現地確認年月日 年 月 日			

＜「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作、②具体的な困難な状況、③改修目的と改修の方針、④改修項目を具体的に記入してください。＞

活動	① 改善しようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況（･･･なので、･･･で困っている）を記入してください		③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針（･･･することで、･･･が改善できる）を記入してください		④ 改修項目（改修箇所）
排泄	□トイレまでの移動 □トイレ出入口の出入（扉の開閉を含む） □便器からの立ち座り（移乗を含む） □衣服の着脱 □排泄時の姿勢保持 □後始末 □その他（ ）	□ □ □ □ □ □ □		□できなかったことをできるようにする □転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 □利用者の精神的負担や不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他（ ）	□ □ □ □ □ □	□手すりの取付け （ ） （ ） （ ） （ ） （ ）
入浴	□浴室までの移動 □衣服の着脱 □浴室出入口の出入（扉の開閉を含む） □浴室内での移動（立ち座りを含む） □洗い場での姿勢保持（洗体・洗髪を含む） □浴槽の出入（立ち座りを含む） □浴槽内での姿勢保持 □その他（ ）	□ □ □ □ □ □ □ □		□できなかったことをできるようにする □転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 □利用者の精神的負担や不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他（ ）	□ □ □ □ □ □	□段差の解消 （ ） （ ） （ ） □滑り防止等のための床又は通路面の材料の変更 （ ） （ ）
外出	□出入口までの屋内移動 □上がりかまちの昇降 □車いす等、装具の着脱 □履物の着脱 □出入口の出入（扉の開閉を含む） □出入口から敷地外までの屋外移動 □その他（ ）	□ □ □ □ □ □ □		□できなかったことをできるようにする □転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 □利用者の精神的負担や不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他（ ）	□ □ □ □ □ □	□引き戸等への扉の取替え （ ） （ ） □洋式便器等への取替え （ ） （ ）
その他の活動	□ □ □ □ □	□ □ □ □ □		□できなかったことをできるようにする □転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 □利用者の精神的負担や不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他（ ）	□ □ □ □ □ □	□その他付帯工事 （ ） （ ） （ ）

改修後、各動作で改善したものにレ点を入れる。

改修後、目的を達成できたものにレ点を入れる。